

原子力発電に係る 産業動向調査2024について

NUCLEAR INDUSTRY TRENDS REPORT 2024

日本原子力産業協会 地域交流部
JAPAN ATOMIC INDUSTRIAL FORUM, INC. (JAIF)

原子力発電に係る産業動向調査とは？



原子力発電に係る産業について
大まかなトレンドを把握するための調査。
情報提供および当協会の事業に活用している。

主な調査項目

① 統計調査

- ・支出高
- ・売上高
- ・従事者数 等



② アンケート

- ・景況感
- ・人材・採用
- ・新型炉への関心 等

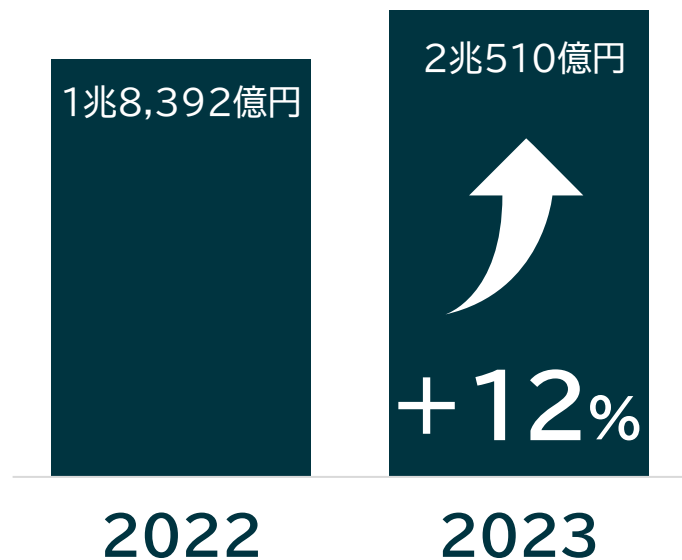


2024の調査概要について

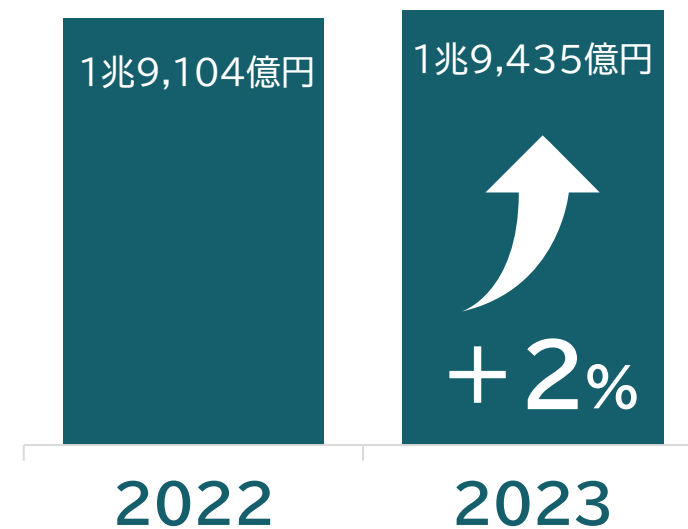
調査対象	調査期間
<p>【調査対象】 主に 当協会会員</p> <p>【対象企業数】 318 社</p> <p>【有効回答企業数】 243 社 (電気事業者11社、電気事業者以外232社)</p>	<p>【対象期間】 統計調査: 2023 年度 アンケート: 回答時点</p> <p>【実施期間】 2024 年 6 月 1 日 ~ 7 月 12 日</p>

原子力関係の支出高と売上高

支出高（電気事業者）
2兆510億円



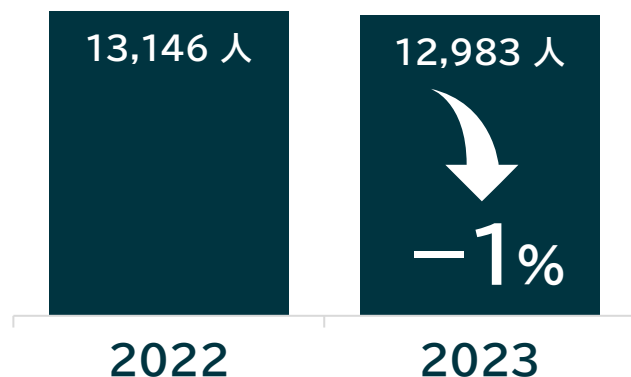
売上高（電気事業者以外）
1兆9,435億円



原子力関係の従事者数

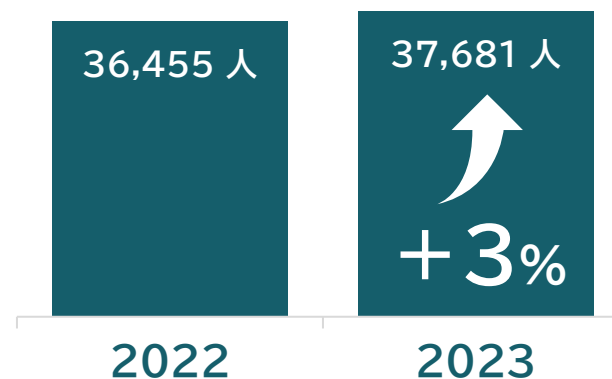
電気事業者

12,983 人



電気事業者以外

37,681 人



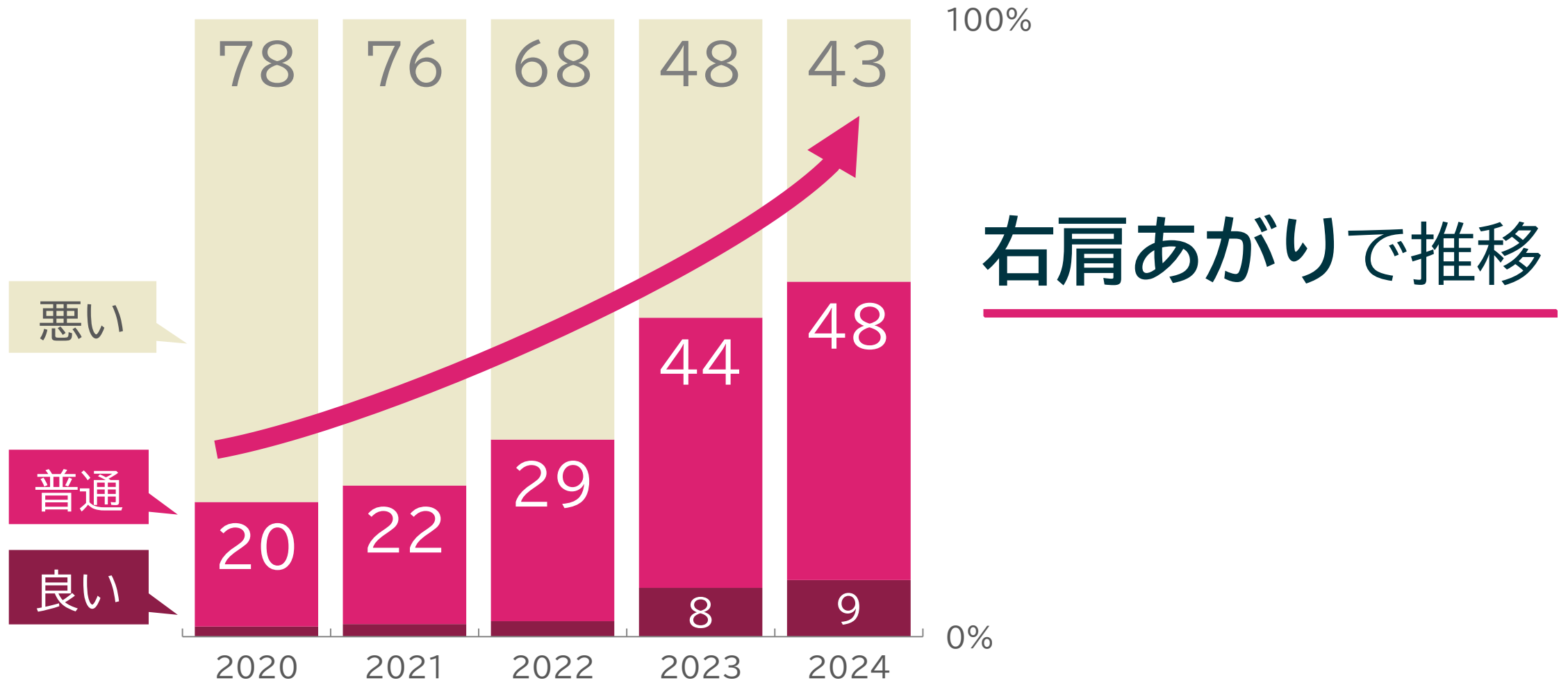
合計 50,664 人(※)  前年度比 +2%

※会員調査ベース。一次請け以降を入れると産業全体の従事者は約8万人(電事連)

アンケート調査結果

Q.現在の原子力産業界を取り巻く景況感は？

電 他



Q. 原子力事業の位置づけは？

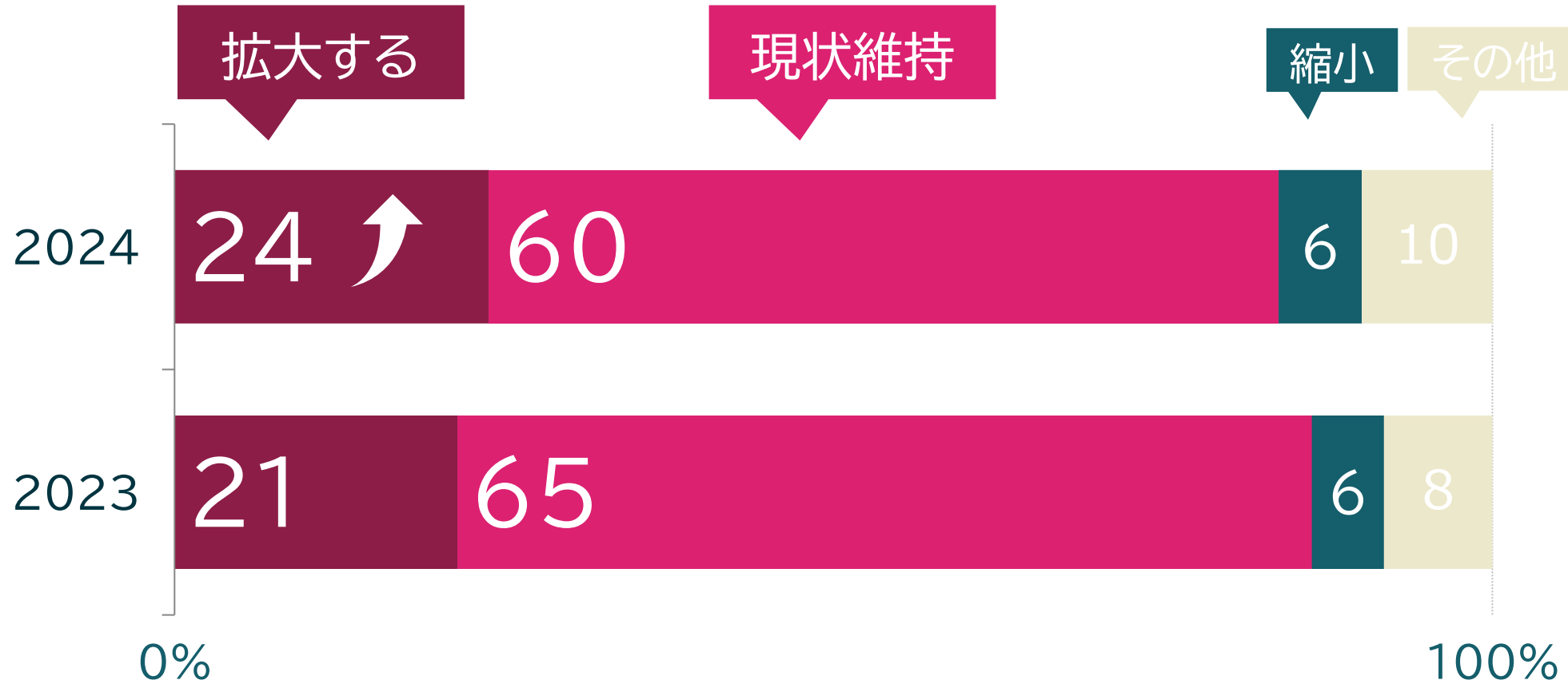
他



拡大・現状維持が94%を占める

Q. 将来の人材配置計画は？

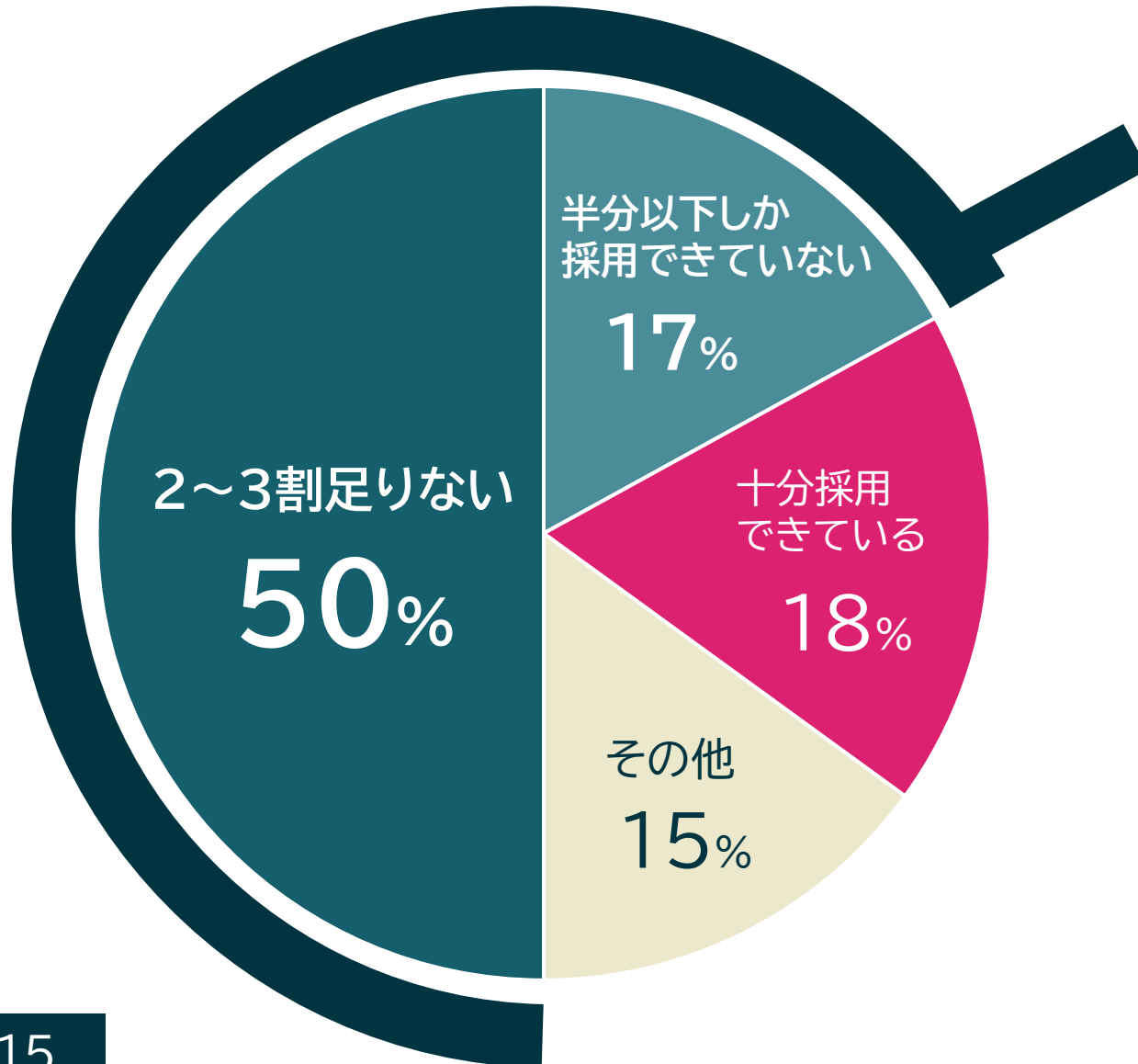
他



拡大・現状維持が84%を占める

Q. 必要人数に対する人材の確保状況は？

他

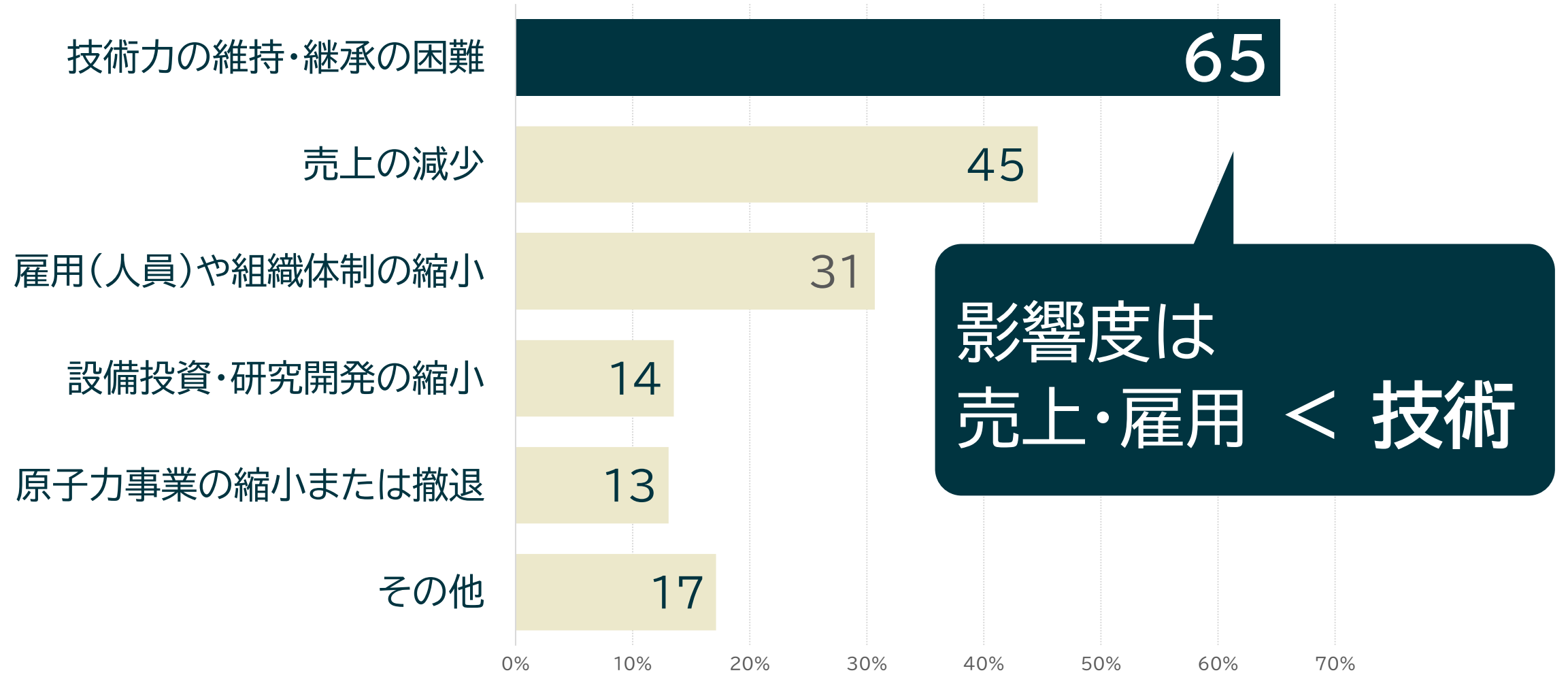


67%

7割近くの企業が
人材を十分に
確保できていない

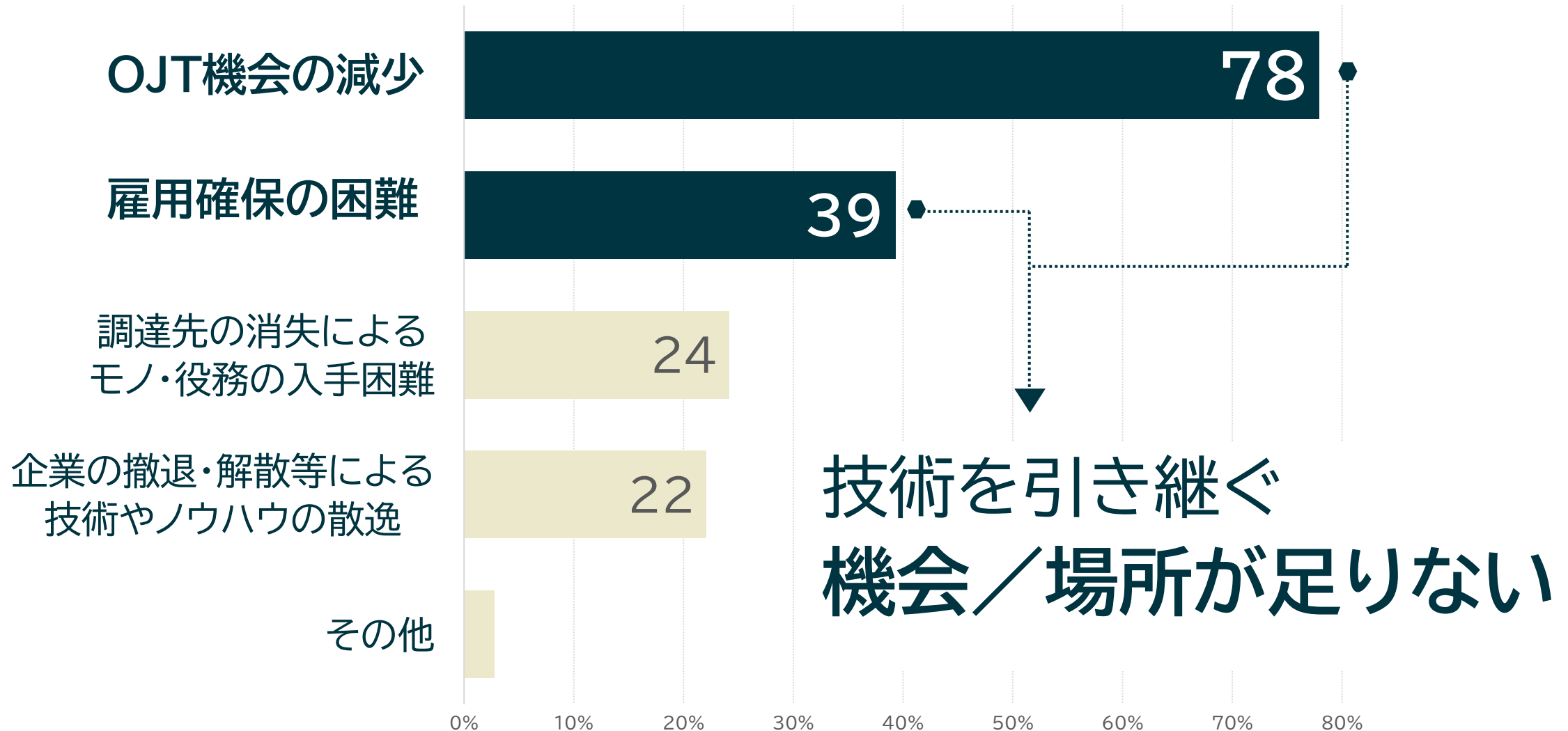
Q.原子力発電所の運転停止に伴う影響は？

他



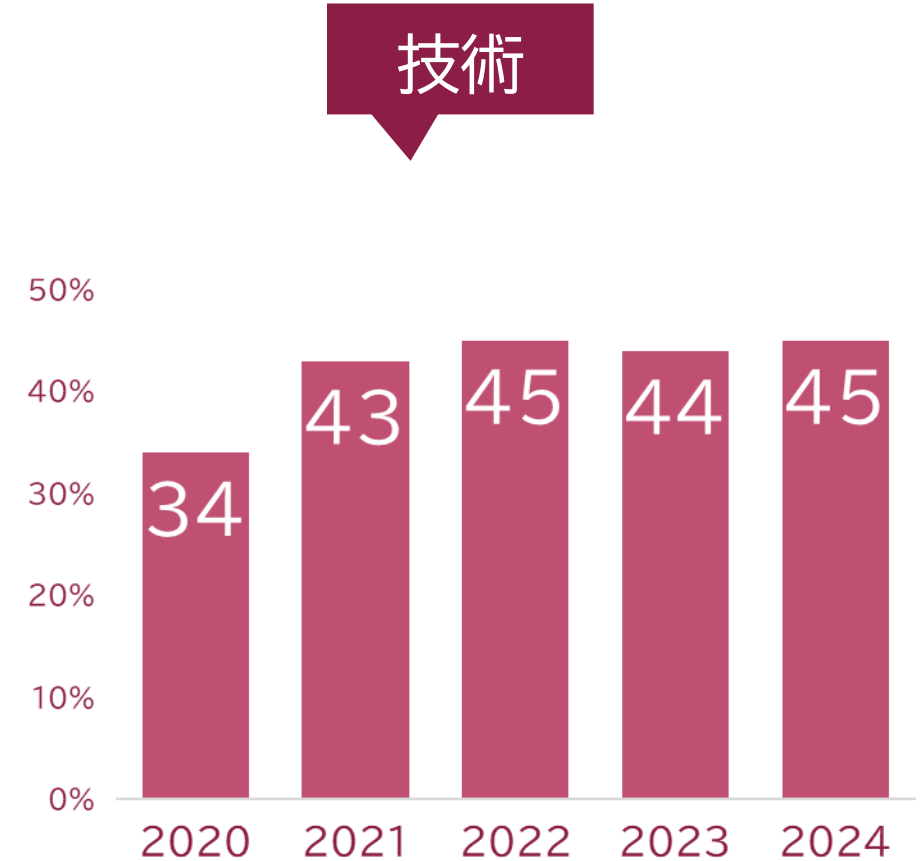
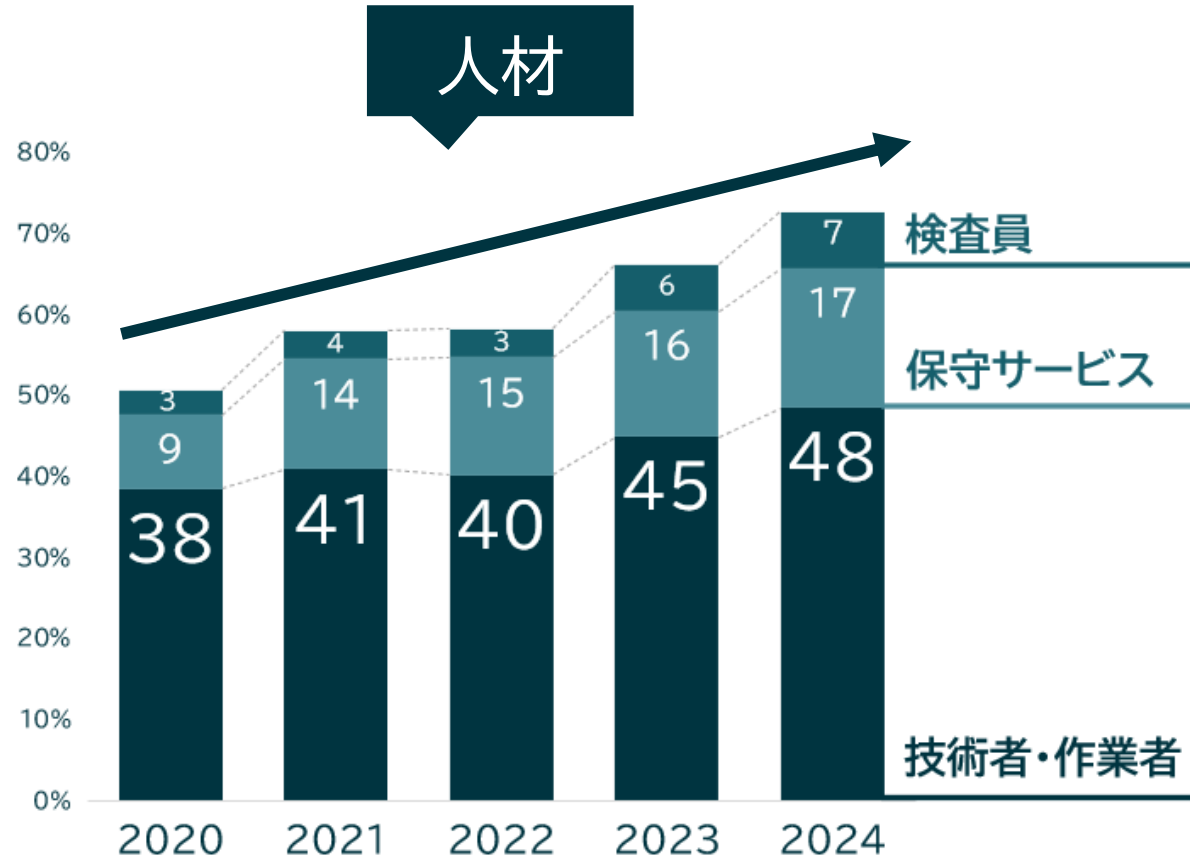
Q.〔技術力の維持継承の困難〕 具体的には？

他



Q. 他社撤退の影響を受ける分野は？

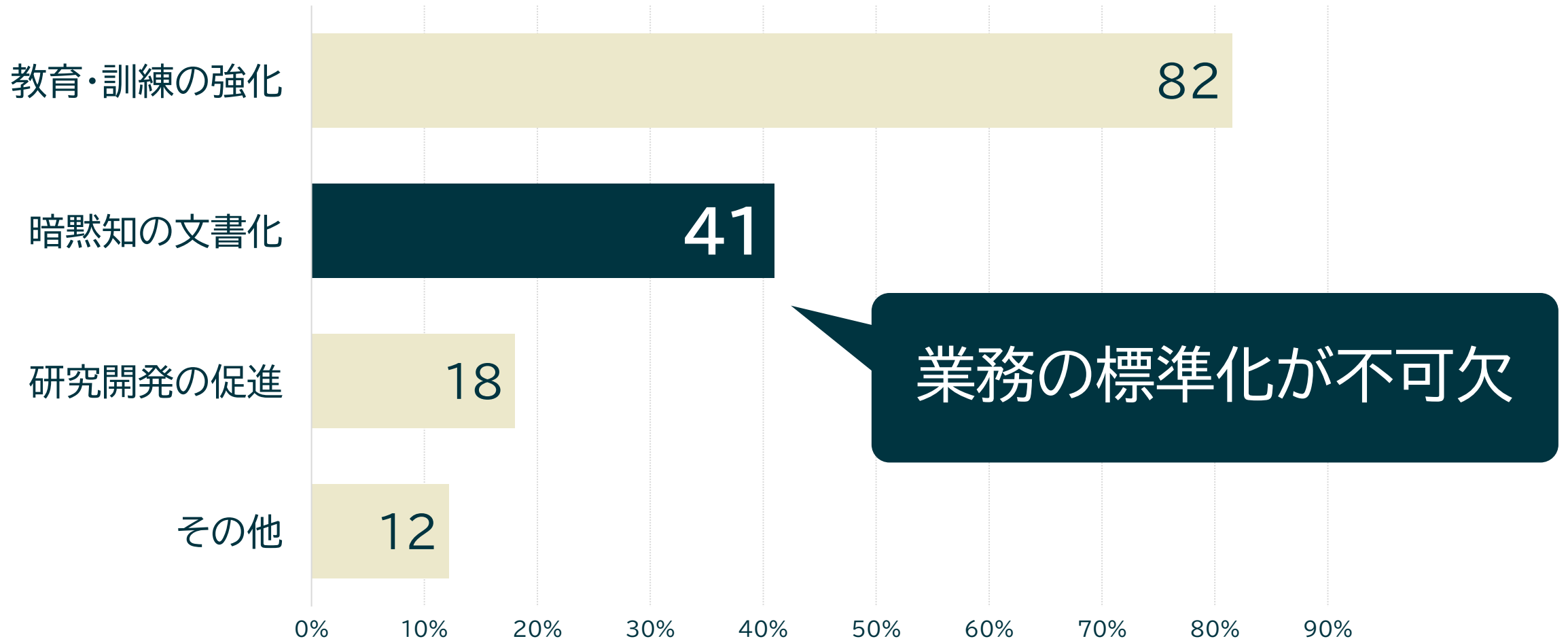
他



人材は年々増加傾向にあり、技術も横ばいで改善目途立たず

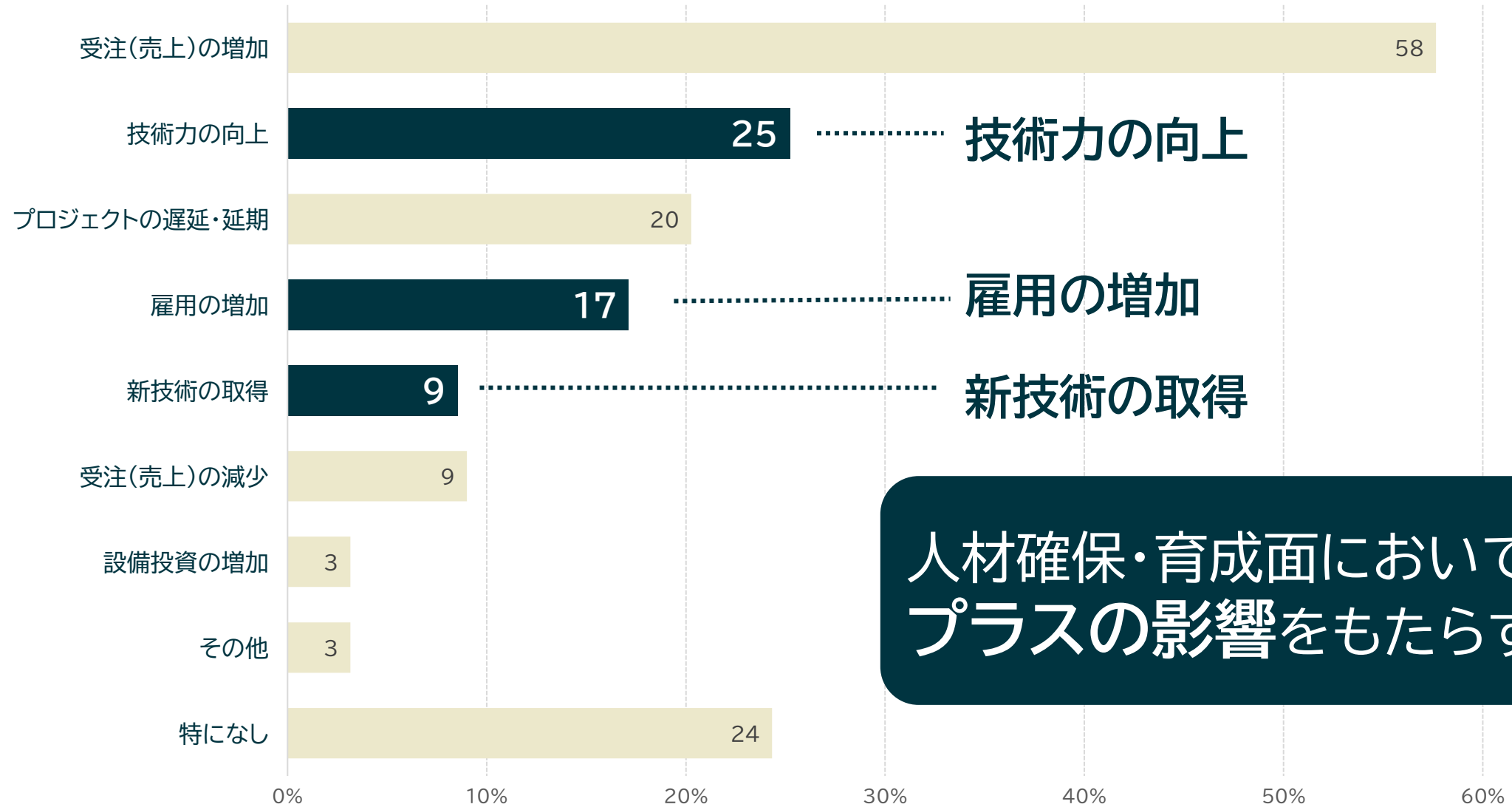
Q. 技術力を維持するために工夫していることは？

他



Q. 原子力発電所の追加安全対策がもたらす影響は？

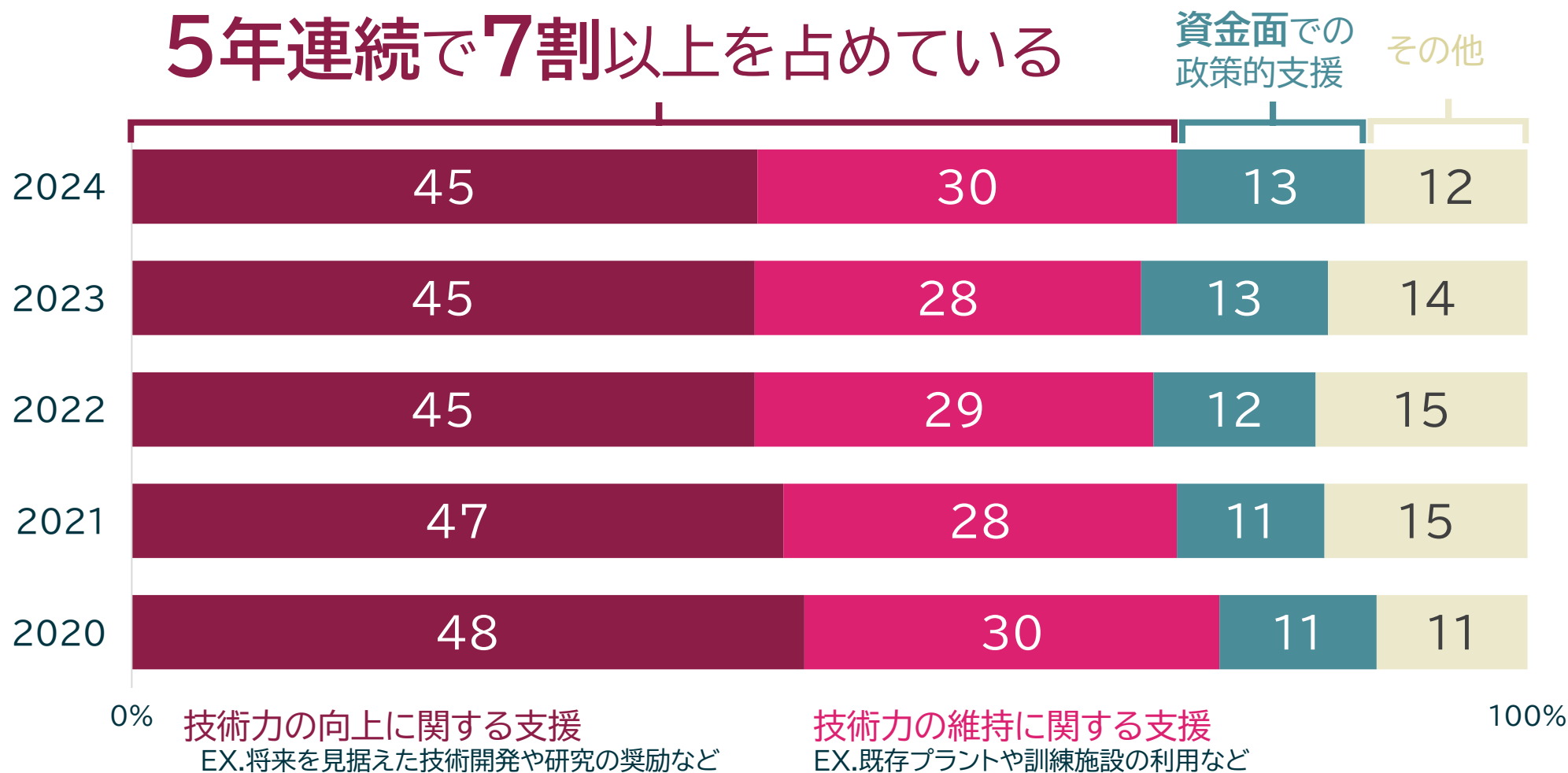
他



Q. 再稼動以外で国や電気事業者に期待することは？

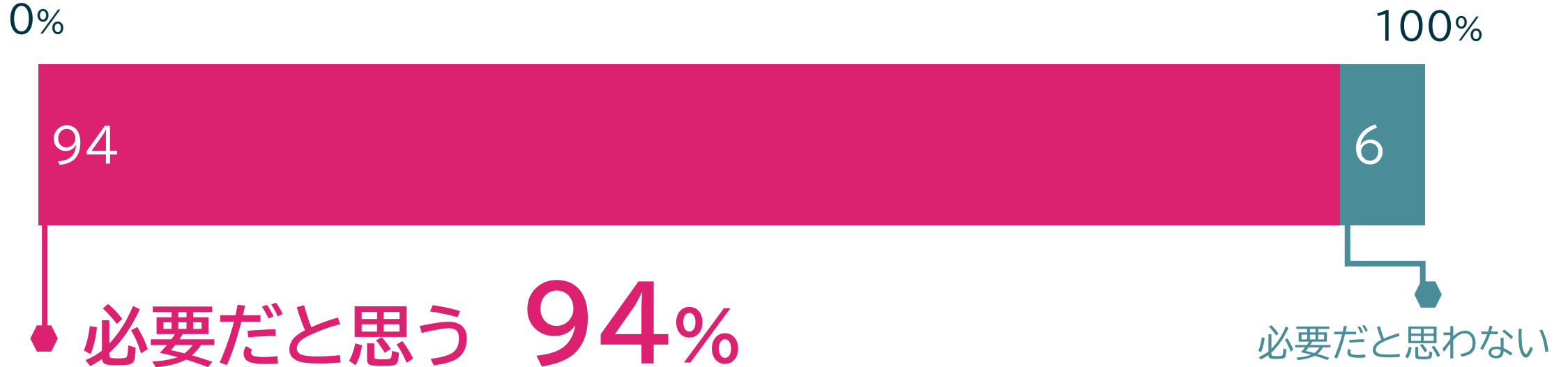
他

技術力の維持・向上に関する支援が
5年連続で7割以上を占めている



Q. 原子力発電所の新設は必要か？

他



回答者の声

- ✓ 建設工事でしか得られない／育たない技術がある(複数)
- ✓ 新設がなければ、技術者を確保し続けられない(複数)

まとめ

まとめ-調査よりわかった人材関連における趨勢

- ✓『技術の維持継承と向上』、『雇用確保の困難』が継続課題である。
- ✓意向と実態の乖離が認められる。



参考-当協会における取り組みの一例

〔JAIF出前講座〕

大学生や高専生などの次世代層を対象に、日本の置かれている状況についての正確な情報提供を行い、エネルギー問題を自らの問題として考えてもらうことを狙いとして全国各地で実施

〔原産Web勉強会〕

会員組織で働く方、特に次世代層や女性の方々を対象として、エネルギーや原子力・放射線の基礎的な内容を短時間で学べる勉強会を4回シリーズで開催

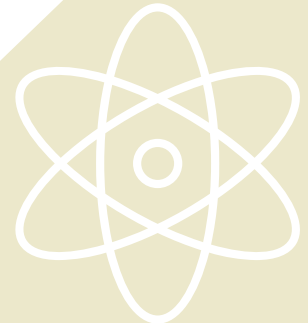
〔ボードゲーム〕

エネルギーミックスの概念の啓発、エネルギーについて考えてもらうためのきっかけ作りとして2023年度に作成したボードゲーム「エレクトロネーション」を会員組織の他、一般のボードゲーム愛好家、会員外組織も対象として販売を実施



次世代層の理解促進
原子力人材の発掘
原子力業界の魅力向上

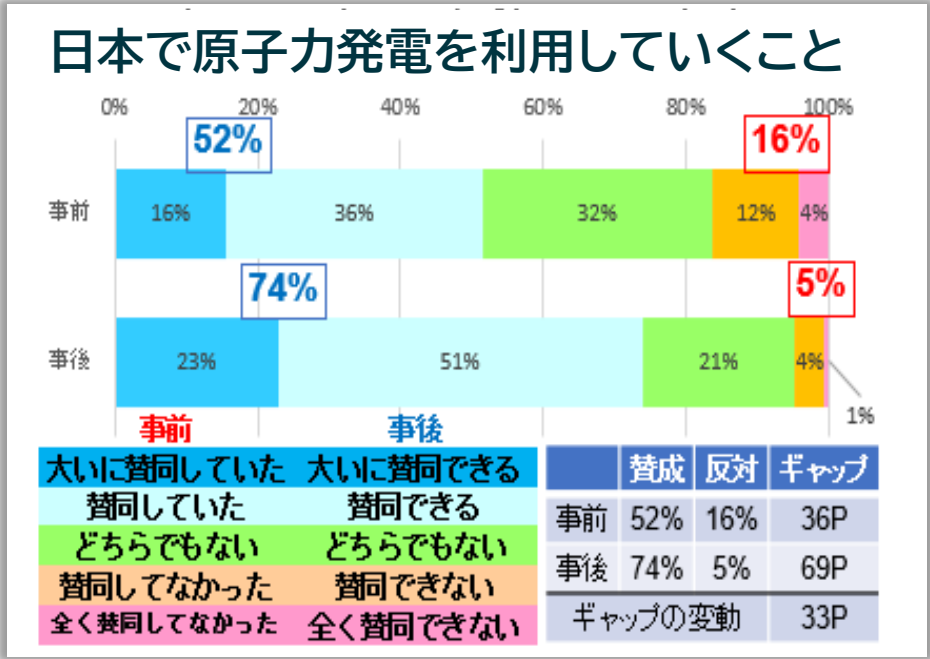
など



参考-出前講座により次世代層の理解UP

■JAIF出前講座

- ・ 大学生や高専生等を対象に、議論を通じてエネルギーや環境を考えてもらうのが狙い
- ・ 2005年度から全国で576回開催、延べ約2万8千名が参加(うち、次世代層25,462名)



(受講前と受講後の意識変化のアンケート調査:2024年度上半期、N=991人)

原産協会は人材確保・育成の課題に対して最大限の努力をする

ご清聴ありがとうございました。

調査報告書2024は
WEBから閲覧可能です。

🔍 “原産協会 動向調査2024” で検索



過去の報告書アーカイブも
WEBから閲覧可能です。

🔍 “原産協会 動向調査アーカイブ” で検索

